

聖武天皇即位一三〇〇年を

みんなでお祝いしよう

秋期特別展「聖武天皇が即位したとき。」関連イベント

ナイト☆ サイト☆ ミュージアム Night☆Sight☆Museum

01 おおすみはやとまい だいじょうさい
大住隼人舞・大嘗祭音楽 上演
18:30~1時間程度

MUSIC & DANCE

大極門にて大嘗祭にちなみ、雅楽師・邦楽演奏家による音楽および大住隼人舞を上演します。
※雨天時の演奏・隼人舞は、平城宮跡資料館講堂にて実施します。

02 ゆきでん
灯りの遺構表示 再現悠紀殿
17:00~(東区朝堂院)

ILLUMINATE

東区朝堂院にて見つかった聖武天皇の「大嘗宮跡」の位置を一夜限りの灯りで地上に表示します。
※ご来場の際は、懐中電灯等の灯りをご持参ください。

03 だいじょうさい
展示夜間開館 (20:00閉館)
OPEN 平城宮跡資料館・復原事業情報館

平城宮跡資料館、復原事業情報館を夜間開館します。

04 だいじょうきゅうせき
大嘗宮跡ナイト☆ツアー
TOUR 平城宮跡資料館にて当日16:30~受付

東区朝堂院までをご案内するツアー。大嘗宮跡現地をめぐって古代に思いをはせましょう！(先着50名様)

聖武天皇が平城宮で即位してから

今年でちょうど一三〇〇年。

この記念すべき年に

聖武天皇の大嘗祭関連の

木簡が出土しました。

平城宮跡の東区朝堂院では

この聖武天皇の大嘗宮の柱穴が

発掘調査で見つかっています。

奈良時代に聖武天皇がとりおこなった

大嘗祭の遺跡で

「聖武天皇が即位したとき。」を

感じてみてください。

だいじょうさい 大嘗祭とは？

天皇が即位後初めて行う新嘗祭のことで、五穀豊穡や国民・国家の安寧を祈願する収穫祭です。
11月下旬の夜に飯の宮、大嘗宮を建て、新穀やお酒などを神々に供え、天皇自身も同じものを食する儀式です。

2024 11.23 (土)祝

17:00-20:00
特別史跡平城宮跡
(平城宮跡資料館・大極門前・東区朝堂院)
入館無料・入場無料

主催：独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所、平城宮跡管理センター 共催：奈良女子大学
協力：ピアノで奈良を奏でる会、Art Workアトリエ菊池、大住隼人舞保存会、奈良女子大学復元楽器プロジェクト、大阪樟蔭女子大学小林政司研究室、株式会社NMStudio
NPO法人平城宮跡サポートネットワーク、平城京天平行列実行委員会
音楽監修：榊原 明子(ピアニスト、作曲家、音楽プロデューサー) 美術監修・舞台監督：菊池 孝(美術工芸家、アート・プロデューサー)

EVENT MAP

至近鉄大和西大寺駅



01
MUSIC & DANCE

大住隼人舞 平城宮跡にて初演舞！
雅楽師・邦楽演奏家による大嘗祭音楽
18:30～1時間程度

大住隼人舞保存会(京田辺市指定文化財(無形民俗文化財))

大住隼人は、今から1300年ほど前に九州の大隅地域から、現在の京田辺市大住地域に移住した人々。平城宮の警備や芸能活動を行い、朝廷に奉仕したといわれています。京田辺市大住にある月読神社(京田辺市大住池平)と天津神社(京田辺市大住岡村)で、毎年10月14日の夕刻に奉納されている「大住隼人舞」は、昭和46年に大住地区の住民が中心となって、鹿児島県祁答院(けどういん)町(現薩摩川内市)の日枝神社に伝わる隼人舞をモデルに復元しました。昭和50年には田辺町(現京田辺市)の無形民俗文化財に指定、その翌年に大住隼人舞保存会が結成され、現在まで受け継がれています。舞手・楽人は大住地区の中学生たちが代々担っています。

三浦 元則(箏、謡、和琴)

広島県呉市出身。祖母や父の影響で幼少より雅楽に親しみ、父 三浦進に箏の手ほどきを受ける。箏・古代歌謡を東儀雅季、右舞を多忠輝(宮内庁式部職楽部)各氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科雅楽専攻卒業。同大学講師(2016-2023)。古典の演奏はもとより、現代音楽の初演、舞台の音楽監修、レコーディング、メディア出演など活動は多岐に亘る。近年ではエミー賞を受賞したドラマ「SHOGUN 将軍」、Tim Heckerワールドツアーなど国内外の音楽プロジェクトにも多数参加している。「東京楽所」「日本音楽集団」所属。「雅楽協会」運営会員。

梅田 真史(龍笛、謡)

愛知県北名古屋市出身。9歳より箏を習い始める。天理教校学園高校、天理大学文学部 歴史文化学科卒業。天理大学在学中、雅楽部に所属。笛、左舞、箏を専門とする。奈良県天理市を拠点に愛知県、岐阜県ほか、国内はもとより、海外公演多数出演。

和田 篤志(笙、和琴)

雅楽器制作者であり、雅楽演奏家。より良い楽器の制作のためには自身の演奏技術の向上が不可欠という信念から京都のみならず全国各地で積極的に演奏活動を行う。Hideaki BUNNO GAGAKU Ensemble京都公演【賀茂競馬の舞楽】を企画運営、出演。笙、右舞を元宮内庁式部職楽部主席楽長 豊英秋氏に師事。

石川 憲弘(復元琴)

京都大学工学部卒業。争を生田流吉田興三郎、20絃箏を野坂操寿、三絃を先代野坂操寿、17絃箏を宮本幸子、指揮を稲田康に師事。NHK邦楽技能者育成会第26期首席修了。文化庁芸術家国内研修生として作曲を牧野由多可に師事。NHK邦楽オーディション合格。第20回宮城会箏曲コンクール作曲部門にて2位入賞(1位なし)。高校音楽教科書(教育出版)の日本音楽の項執筆。NHK邦楽技能者育成会で講師を務める傍ら、数多くの海外公演やCD録音を行う。邦楽アンサンブル「昂」主宰。やまなし邦楽合奏団「響鳴」指揮者。NHK邦楽技能者育成会同窓会合奏団「響」音楽監督・指揮者。岩波ジュニア新書「はじめての和楽器」編著。CD「樹木嶺」「風紋」「森のささやき」「和楽園」他多数。

石川 利光(尺八)

大阪府出身。琴古流尺八および古典本曲を田嶋直士、そののち横山勝也に師事。古曲を五世荒木古童に師事。NHK邦楽技能者育成会第37期首席修了。NHK邦楽オーディション合格。平成7年度文化庁芸術インターンシップ研修員。平成8年度大阪府芸術劇場奨励新人。平成9年度第3回全国邦楽コンクール奨励賞受賞。「福田蘭童作品展」「管絃浪漫」「秋の夜長の尺八本曲」等のコンサートや尺八講習会をプロデュース。1990年よりアメリカ、オーストラリア、ベルギー、ドイツ、イギリス他各国にて公演。現在は、古典本曲および福田蘭童曲を中心としたソロ活動に加え、米村鈴笙、岡田道明と尺八三本会「風童」、兄・石川憲弘と「石川プロス」、細見由枝、竹山順子と「ミツ星会」を結成し、CD録音、放送及び積極的なコンサート活動を行っている。

音楽監督・演奏者コーディネーター：榊原 明子(ピアノ、作曲・編曲)

奈良市出身。神戸大学発達科学部人間行動・表現学科卒業。Casa Verdi Master Pianoforte Class 修了。奈良女子大学人間文化総合科学研究科博士前期課程人間科学専攻修了。ピアノ演奏・作編曲のジャンルは多岐に渡り、特に伝統芸能や民族音楽との共演を通して日本人としての音楽表現を探究している。現在、奈良女子大学人間文化総合科学研究科博士後期課程人文科学専攻にて、縄文・弥生・古墳時代の日本の楽器について研究中。飛鳥応援大使。

奈良女子大学復元楽器プロジェクト(復元楽器)

古代日本の音楽・楽器や復元楽器製作・演奏に興味のある様々な分野を専攻する奈良女子大学在学生在が集い2022年に発足。初年度は縄文・弥生時代の土笛作り、2023年度は平城宮出土琴形を作るワークショップを奈良文化財研究所との共催にて開催。今回は、初期メンバーの辻媛花、西村江里菜が出演。顧問：宮路淳子 奈良女子大学研究院 人文科学系教授



02
ILLUMINATE

**聖武天皇「大嘗宮跡」
灯りの遺構表示**
メタルアートワーク
再現悠紀殿
17:00～

悠紀殿再現
美術監修：菊池 孝(美術工芸家、アートプロデューサー)

大阪市生まれ、奈良市在住。大阪芸術大学造形ゼミナール卒業。カルフォルニア美術工芸大学サマーセミナー修了。1980年より日本、韓国、ドイツ、イタリア、アメリカ他、国内外で個展・グループ展を多数開催。官公庁、美術館、商業施設、ホテル、企業、個人コレクター等、国内外にて多数取蔵。2022年より、日本古代復元楽器の制作を開始。大阪樟蔭女子大学非常勤講師。飛鳥応援大使。

映像制作：寶田 海奈(画家)

奈良市在住。京都市芸術大学大学院絵画専攻修士課程修了。個展「Scapegoat」(awaiya books) [2021]をはじめ、心齋橋ギャラリービル等にて個展開催。記憶と時間を探るような作品をフレスコ技法や、油絵、陶器などで制作。

アートワーク友情応援制作：

朴 東驥(城南アートセンターキューブ美術館(大韓民国)部長、奈良市観光大使)

小林 政司(大阪樟蔭女子大学 化粧ファッション学科教授)

今西 智洋(クリーンボーイ大阪株式会社 代表取締役社長)

石橋 亜弥子(株式会社サードリバー・セキュリティ)

会場へは公共の交通機関をお使いください



平城宮跡
資料館HP



奈文研公式
X (@Naniwa)

イベント詳細は
随時、奈文研公式Xで
配信します。



独立行政法人
国立文化財機構 奈良文化財研究所

平城宮跡資料館

https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/
お問い合わせ | 0742-30-6753 (総務課広報企画係)